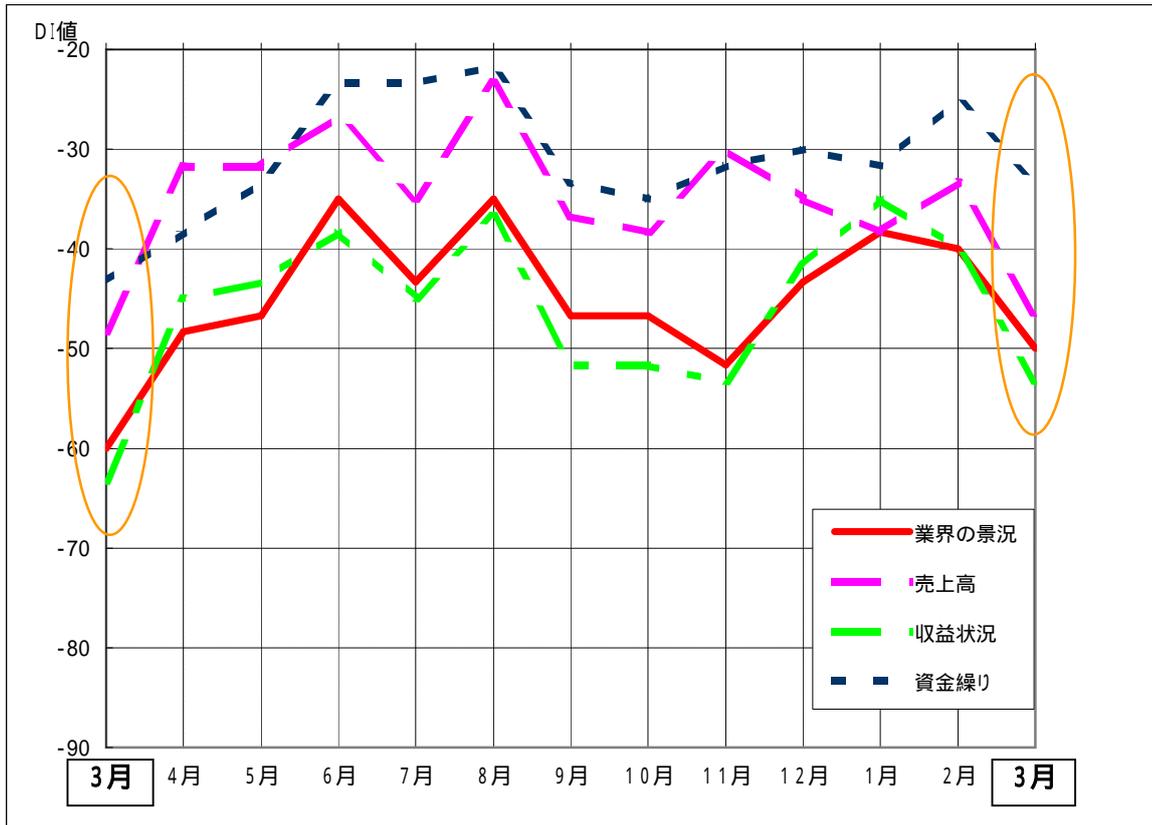


## 業界 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成22年3月～平成23年3月

単位:ポイント



	H22						H23						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業界の景況	-60.0	-48.3	-46.7	-35.0	-43.3	-35.0	-46.7	-46.7	-51.7	-43.3	-38.3	-40.0	-50.0
売上高	-48.3	-31.7	-31.7	-26.7	-35.0	-23.3	-36.7	-38.3	-30.0	-35.0	-38.3	-33.3	-46.7
収益状況	-63.3	-45.0	-43.3	-38.3	-45.0	-36.7	-51.7	-51.7	-53.3	-41.7	-35.0	-40.0	-53.3
資金繰り	-43.3	-38.3	-33.3	-23.3	-23.3	-21.7	-33.3	-35.0	-31.7	-30.0	-31.7	-25.0	-33.3

3月のDI値は前年同月に比べ、全項目が改善され、これで15ヶ月連続で全項目改善となった。「業界の景況」DI値は10ポイント、「売上高」DI値は1.6ポイント、「収益状況」DI値は10ポイント、「資金繰り」DI値は10ポイントとそれぞれ改善した。製造業と非製造業との比較では、非製造業の方が「売上高」で47.4ポイント、「収益状況」で33.1ポイント、「業界の景況」で26.8ポイントと低い値を示しており、その差は前月よりも広がっている。なお、前月比で見ると、「業界の景況」は10ポイント、「売上高」は13.4ポイント、「収益状況」は13.3ポイント、「資金繰り」は8.3ポイントとそれぞれ悪化した。東日本大震災により売上先及び仕入先の直接的、間接的影響もあり、売上高や収益状況は10ポイント以上一気に悪化した。

組合の特記事項からは、東日本大震災の影響は様々な面で生じていることが指摘されており、食料品製造業、木材・木製品製造業、繊維・繊維製品製造業等では、原材料の値上がりや品不足、受注のキャンセル、引き取りの遅延、輸出相手国の受け入れ制限などで対応に追われているという声が、卸売業では、仕入先の被災や物流の麻痺等により、一時操業が停止したとの声が多く寄せられた。また、電力の使用制限については、操業への影響を懸念する声が多いほか、商店街やサービス業を中心として、計画停電の発表や自粛ムードにより宴会、パーティーのキャンセルなど需要が減少しているという声が多い。総じて、今後も計画停電の実施や放射能問題、自粛ムードの長期化により、経済活動が停滞することを危惧する声が多い。